



## コロナの影響で4年ぶりの開催となった「もりんぴあフェスティバル」

9月24日(日)、時折日差しも差し込む過ごしやすい陽気のなか、もりんぴあフェスティバルが開催され、施設をあげてのフェスティバルに活気が溢れていました。

新型コロナウイルスの感染防止の観点から、2020年度から2022年度は中止となっていたため、4年ぶりの開催となりました。5月8日に感染症の位置づけが5類感染症に移行したことを受け、5月初旬に開催の方向で事務局が動きはじめ、5月下旬から7月7日まで実行委員(出演者・出展者・出店者)の募集を開始し、33団体が名乗りをあげました。7月17日には、実行委員が一堂に会し全体の説明が行われた他、それぞれの部門ごとに注意事項などの確認が行われました。

実行委員の応募がコロナ前に比べて少なかったこと、8月に行われた「こどものまち」でも想定よりも入場者が少なかったことを受けて、いったいどの位の来場者になるのだろうかという不安の中、当日を迎えましたが、入口延べ人数で3,610名の方が足を運んでくださいました。やはりコロナ前に比べると少ないものの、こんなに多くの方がフェスティバルを楽しみにしてくれていたのだと嬉しさが込み上げてきました。

開催中・開催前後問わず、「楽しみにしていました」「久しぶりの発表の場をありがとう」など喜びの声が多く聞こえました。

開会式での小林順子実行委員長の挨拶、成田市立公津の杜中学校 吹奏楽部のファンファーレにて始まり、「もりフェスクイズラリー」の抽選会・閉会式までの6時間30分と限られた時間ですが、それぞれの演目・作品・商品を満喫し、出演者・出展者・出店者、来場者問わず笑顔に満ち溢れていました。

施設利用者に限らず、地域の方をはじめとするどなたにでも楽しんでもらえるように、利用者の演目以外にも講座やイベントを計画し、実行に移しました。今回、4年ぶりの開催となり、事務局では色々と思いつきながらの運営であったり、未経験の職員がいたりしたこともあり、運営がスムーズにいかず、ご迷惑をお掛けいたしました。今年度の経験を活かし、次年度のフェスティバルはより多くの方に楽しんでもらえるように努めてまいります。そのため、ご希望やご意見がございましたら、お気軽にお申し付けください。(K)



▲公津の杜中学校 吹奏楽部の演奏をたくさんのお客が見守っていました



▲2階回廊のマルシェ也大賑わい



▲うなりくんはどこにいても大人気

# サロン特設ステージ

## 出演団体

公津の杜中学校 吹奏楽部

成田市杜の少年少女合唱団

もりんぴあ合唱部

アルマーザ

アロハ・フラ・ティアレ

ナターリアベリーダンス

Halau Haahulanahenahe

marica japan

Mohala Pua

フラサークル メリア

ルアナ フラ スクール

バルーンのお姉さん あおい



▲GReeeN のキセキを歌った成田市杜の少年少女合唱団  
当館主催にて、第1・第3土曜日に練習を行っている。団員は随時募集している



▲第2金曜日に練習を行っているもりんぴあ合唱部。少し緊張した面持ちながらも日頃の練習の成果を発揮した

1階サロンの特設ステージでは、公津の杜中学校 吹奏楽部の開会式ファンファーレによる演奏、成田市杜の少年少女合唱団・もりんぴあ合唱部による合唱、フラダンス、ベリーダンス、古典フラなど 12 団体による発表会が行われました。参加団体は当館スタジオをご利用されている方々で、各ダンスに合った華やかな衣装でパフォーマンスをし、普段と違った一面を見ることができ、思わず見とれてしまいました。

もりんぴあフェスティバルは 4 年ぶりの開催となり、4 年前と比べて約半分の参加団体数でしたが、それを感じさせない魅力的なパフォーマンスが観客を魅了していた印象でした。

バルーンパフォーマンスでは、実際に目の前で見る事、体験する機会が少ないので、子どものみならず大人も魅了されていました。また、音楽に乗せて作品を作り上げていく工程に多くの参加者が感動し、楽しまれていました。(A)

# MORI×MORI ホール



## 出演団体

Cords

シニア・アロハ・サウンズ

Fifty-Fifty

15-FIELDS

ラウレア・ハワイアンウクレレ

Slowk

Captain Cloud

STRANGE



▲コンピューターの打ち込みを使ったニューミュージック調のオリジナルソングを披露



▲ウクレレ演奏のハワイアンミュージックでは、フラダンスサークルとのコラボもありました

MORI×MORI ホールでは、8組の団体がそれぞれの練習の成果を披露しました。ロックンロール、R&B、昭和歌謡、ニューミュージック、J ポップ、ハワイアンミュージックなど様々なジャンルの曲が聞けるのは、フェスティバルならではの、スタジオ利用者の幅が広いことがうかがえます。

コロナ禍では、飛沫の関係から歌を含む演奏を披露する場がありませんでした。4年ぶりの開催ということもあり、久々の人前での演奏の場に歌声や演奏に力が入っていたように感じます。その演奏に応えるかのように観客も、演奏にあわせて踊ったり、一緒に歌ったり、スマートフォンのライトを点灯させリズムにあわせて振ってみたりと、それぞれの楽しみ方で、音楽を満喫していました。

今回も会場巡りクイズラリーの答えをステージ後ろのスクリーンに映し出しましたが、答えが映し出されると会場をあとにする姿が多くみられたのが残念でなりません。(K)



▲懐かしい J ポップをカバー。近隣の施設から応援も駆けつけました

# ギャラリー MORI×MORI

## 出 展 団 体

もりんぴあ己書

るりのほし

仮名書道研究会

青穂会

裕成会

GRIT HUMAN LABO

公津の杜なかよしひろば



▲作品をパシャリ。自分・家族の作品か友達の作品でしょうか？



▲公津の杜なかよしひろばの体験ブースでは工作体験が行われた



2階のギャラリーでは日頃からもりんぴあで活動されている7つの団体やサークルの作品が、一足早い9月16日から展示されました。

今回は主に書道作品の展示が多く、壁面にはいくつもの力作が勢ぞろいしました。それぞれに工夫しながら展示され、その中にはなぜこの文字を選んだのかなどのコメントが添えられている作品もあり、とても興味深く一点一点読ませていただきました。

今回初出展となる子どもたちのアート作品もありました。どれもものびのびとした自由な感性で表現されており、優しく柔らかな印象で楽しみながら活動されているのが感じられました。

また『公津の杜なかよしひろば』のコーナーでは、かわいい手作り作品の販売や、体験コーナーがあり、お子様連れや小さなお友だちで大変賑わっており、自分で作った作品を手にしたみなさんは、とても満足そうな表情を見せてくれました。(G)



▲当施設講座からサークルが誕生した己書のブース。心そのままに書けましたでしょうか？

# マルシェ



## 出店団体

Circulo Hispano de Narita  
レモネードスタンド nico  
NPO法人子供らと歩む親の会  
杜の風  
台方ラーメン  
北須賀直売所まこも  
公津の杜小学校PTA  
ル・シャキパル  
成田市立図書館公津の杜分館



▲成田市立図書館 公津の杜分館のリサイクル本(絵本)コーナー



▲国際都市成田。メキシコ料理がマルシェで販売されていました

今年度のマルシェではメインエントランス横で6団体、2階回廊で3団体の計9団体と4年ぶりの開催で出店希望団体は少なかったのですが、店はどこも大盛況でした。

今年の夏は猛暑が続き9月半ば過ぎても暑く、熱中症の心配もありましたが、当日は26度前後の過ごしやすいお天気。アイスにかき氷、レモネード、わたがし、チュロス、焼きそば、おにぎりなど充実したメニューで、どれにしようか迷ってしまいます。野菜の販売も好評でした。

2階では、コーヒー、手芸品の販売。ゲームコーナーにはたくさんの子どもたちが集まり、目を輝かせながら3種類のゲームに挑戦していました。また市立図書館ブースでは、改訂版や新版が出版され、図書館での役目を終えた絵本が無償で配布されました。

どこも大変な賑わいで、予想より早く売り切れてうれしい悲鳴。

コロナが5類移行になり、制限なくマルシェを楽しんでいました。(N)



▲新鮮野菜の販売も行われ、たくさんの方が購入されていました

# イベント・講座



イベントや講座会場では多くの笑顔に出会えました。大きなフワフワドームの中で見る秋の夜空は、みんなの目をキラキラさせていました。ウィンナーの飾り切りは親子での体験。お弁当作りに活躍しそうですね。近頃注目の将棋の大会も行われ、興味津々に子どもたちが集まってくれました。その他、牛乳パックを利用したびっくり箱作りも大人気でした。午後にはバルーンのお姉さん、あおいさんが音楽に合わせて作ったすてきな作品を会場の人にプレゼントしていただき大賑わい！106回目を迎えたチャレンジランキングでは自己最高記録に挑戦するお友だちが続々と集まりました。アナログだけどつつい夢中になってしまうこのゲーム、毎月第3日曜日の午後には開催していますので、ぜひ遊びにきてくださいね！

2階のお花のアレンジメント展示会場は大変華やかで工夫が溢れていました。一部体験もあり、自分の作品を手にしたみなさんの表情はとてもステキでした。(G)

# 実行委員・ボランティア



7月17日(月・祝)にもりんぴあフェスティバルの出演・出展・出店希望者からなる『もりんぴあフェスティバル実行委員会』が行われ、28 団体 36 名が参加しました。

実行委員長の挨拶のあと、開催概要の説明や実行委員ボランティアについての説明、各団体の自己紹介が行われました。



その後、部門ごとに分かれて部門の諸注意、出演順の決定などタイムスケジュール、レイアウトが決定。出演順の割り振りでは、一部希望が重なり抽選が行われました。この実行委員会の開催により、事務局の本格的な準備が開始されました。

もりんぴあフェスティバルは、実行委員の他、たくさんのボランティアの方々に支えられ、お手伝い頂き開催することができました。

小学生ボランティアは前日準備も含め、パンフレットの配布や入場者数のカウント、イベント受付の手伝いなどで活躍してくれました。



普段、3 階の屋上庭園や駐車場出入口脇の花壇を手入れして下さるグリーンボランティア方々は、花苗の配布をお手伝いいただきました。この花苗は、100 円以上募金して下さった方に 1 ポット差し上げていました。この日集まった 20,103 円の募金は、「いわて学び基金」に寄付いたします。このように、実行委員以外にも地域の方々のご協力によりフェスティバルが成り立っています。(K)



# 会場巡りもりフェスクイズラリー



各階ではお孫さんの手を引きながらクイズコーナーを探すおじいちゃんやおばあちゃん。相談しながら記入するご家族連れ。ポスターを見つめて真剣に答えを考えるお友だちなど、幅広い年代の方が参加して下さいました。今回はもりんぴあフェスティバル初の当日抽選会！早くから来館された方は抽選発表の時間までいらして下さいのか？など心配していましたが、ロビーを埋め尽くすほど多くの方々が、応募控え用紙を手に集まって下さいました。公津の杜小のもりもりくん&もりもりちゃんもプレゼンターとして駆けつけてくださり、まこも様提供の秋の実りのお米、台方ラーメン様提供の図書カード、ユアエルム様提供のお買い物券などが次々に当選者のみなさんに手渡されました。いよいよ最後はスプリングジャパン様提供の国内旅行往復ペアチケット！同社客室乗務員の方が抽選、プレゼンターとして壇上に上がると、会場からは「カワイイ！」の声。大いに盛り上げていただきました。今回は残念ながら当選を逃してしまったみなさんも、ぜひ次回をお楽しみに！（G）

## 景品提供

SPRING JAPAN

京成公津の杜駅前  
shopping park  
**your ELM**  
ユアエルム成田

北須賀直売所

まこも

Bb  
Be brilliant!  
公津商店会

台方ラーメン

ACTIO

公津の杜コミュニティセンター  
(指定管理者 アクティオ株式会社)  
発行人: 竹尾 裕之 編集: 鹿嶋 聡明  
〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地  
TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353  
E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: <http://morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ  
こうづ  
MorinpiaKozu